





# 護衛艦の仕事

ここでは1分隊と2分隊を紹介します。

## 1分隊 (砲雷科)

射撃員、射撃管制員、魚雷員、水測員、運用員で編成しています。  
武器を扱う仕事や艦の出入港、洋上での各種作業に関する仕事をを行います。



### 射撃員

大砲やミサイル等の取り扱い及び整備を行います。



### 水測員

潜水艦を見つけるために海のなかの音を聞いています。



ミサイル発射訓練の様子

### 射撃管制員

射撃員のパートナーであり、攻撃目標を狙い攻撃を行います。



### 運用員

出入港時や洋上での各種甲板作業を行います。



### 魚雷員

攻撃武器の一つである魚雷の発射や整備を行います。



### 艦橋見張りの様子

航海時は専門の職種以外にも艦橋の見張り、操舵(舵の操作)等を交代で行います。

## 2分隊 (船務科・航海科)

航海員、電測員、通信員、気象海洋員、電子整備員、情報員で編成しています。  
その職務は幅広く、艦を安全に航海するための仕事をしています。



艦橋内部の様子



### 航海員

手旗、発光、旗流信号や海図を使い艦を安全に航行させます。



### 気象海洋員

天気予測や海洋観測をします。



### 通信員

無線通信や情報システムの整備を行います。



### 電測員

レーダーを使い航空機や艦船を見つけます。



### 電子整備員

艦船の電子機器等の修理を行います。



# 護衛艦の仕事

ここでは3分隊と4分隊を紹介します。

## 3分隊 (機関科)

ガスタービン員、ディーゼル員、電機員、応急工作員で編成しています。機関科は船の動力であるエンジンの運転整備、電気機器の運転整備、燃料や真水の管理等を行います。まさに艦の心臓というべき仕事です。火災や浸水から守る消防署の役割もあります。



艦のエンジンの様子  
航空機のジェットエンジンを  
船でできるように改良し  
使用しています。

## ガスタービン員

船舶用ジェットエンジンの運転・整備や艦のライフラインの管理をします。



## 電機員

艦の発電所で、電機機器の運転・整備及び管理をします。



## 応急工作員

艦内の消防士さんです。火災や浸水などの対処を専門としますが、配管修理などの作業もします。

## 4分隊 (補給科・衛生科)

経理員、補給員、給養員、衛生員で編成しています。艦でお金に関わる仕事や物に関わる仕事、隊員の食事を賄う仕事及び健康管理に関わる仕事を行います。



## 経理員

隊員の給与の計算や業者との契約等、お金に関わる仕事をします。



## 補給員

必要な物資を効率的に準備提供する仕事です。



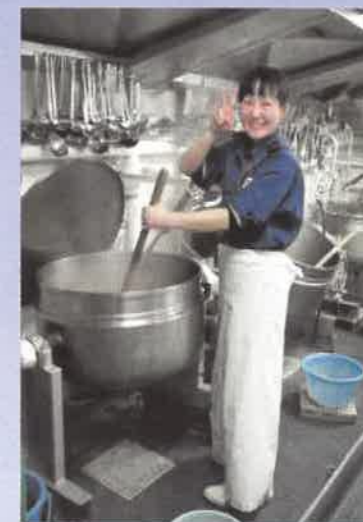
## 衛生員

隊員の怪我や病気の診療補助や健康管理、衛生器材の管理等を行います。



## 給養員

隊員に食事を提供する仕事です。艦では火災を起こさないように火を使わずに蒸気と電気を使って調理します。和、洋、中、寿司からケーキまで何でも作れるシェフ集団です。





# 護衛艦の仕事

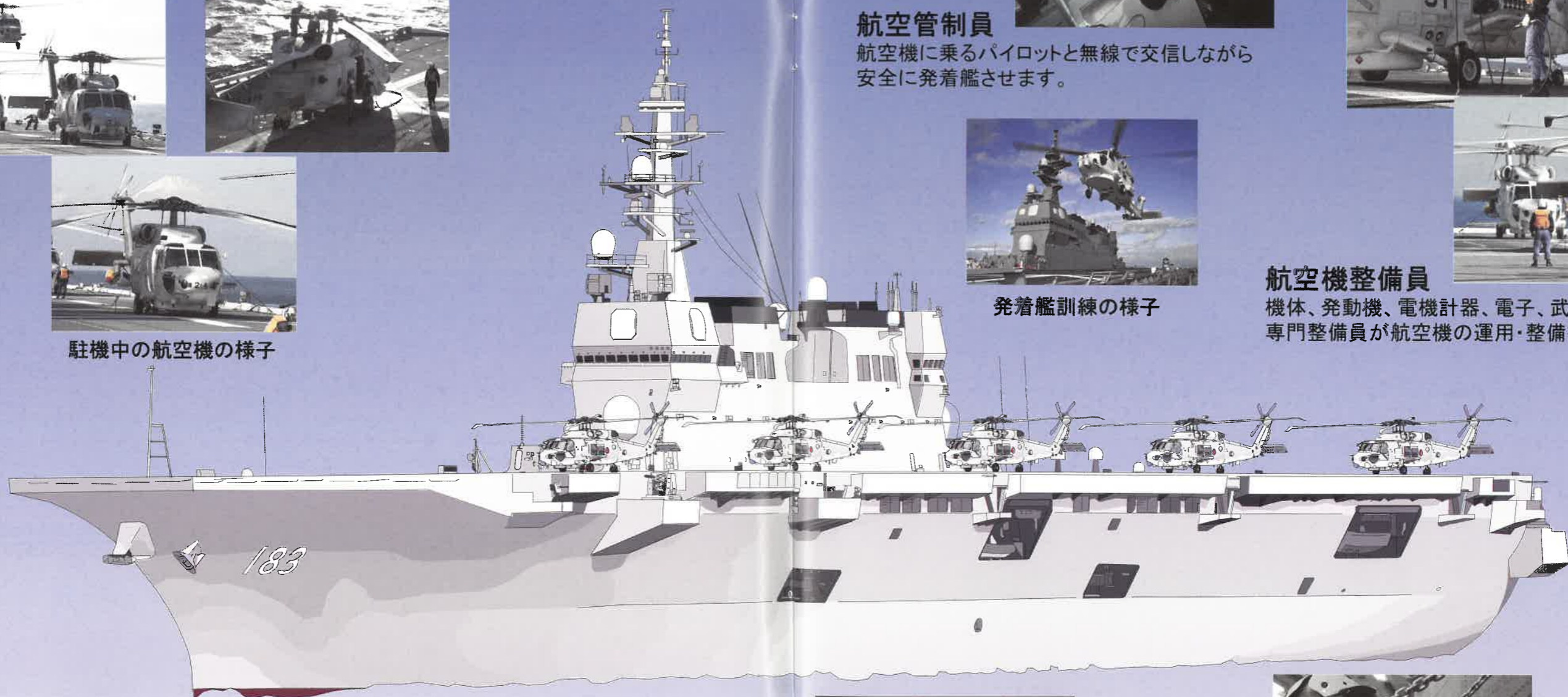
ここでは5分隊の紹介をします。

## 5分隊 (飛行科)

航空機体整備員、航空発動機整備員、航空電機計器整備員、航空電子整備員、航空武器整備員、艦上救難員、航空管制員で編成しています。(DDHの場合) 搭載航空機の運用及び各種整備作業を行います。  
※DDの場合、航空管制員は2分隊、艦上救難員は3分隊に配置します。



駐機中の航空機の様子

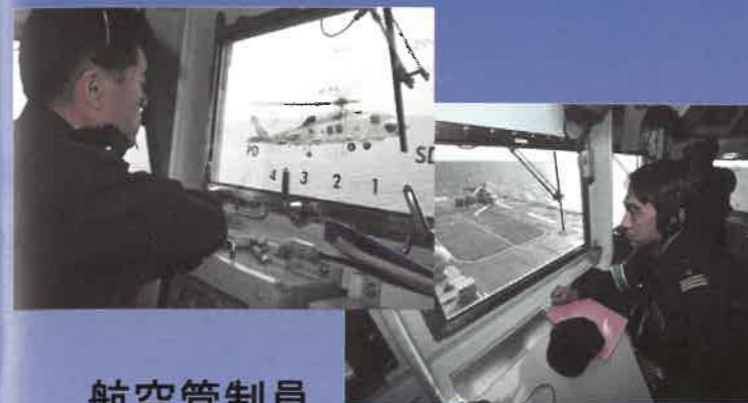


航空機格納の様子



## 艦上救難員

艦上での航空機事故に際し人命救助、火災に対する消火活動に備え待機しています。



## 航空管制員

航空機に乗るパイロットと無線で交信しながら安全に発着艦させます。



発着艦訓練の様子



## 航空機整備員

機体、発動機、電機計器、電子、武器それぞれ専門整備員が航空機の運用・整備を行います。



## 搭乗員

ヘリコプターのパイロットとセンサーマンです。いつでも飛び立てるように待機しています。



格納庫内では整備員が航空機を整備します。



# 潜水艦の仕事

**1分隊** 水上艦艇と異なり魚雷員のみで編成しています。

**2分隊** 分隊の編成は護衛艦とほぼ同じです。

**3分隊** 水上艦艇と異なりディーゼル員と電機員で編成しています。

**4分隊** 分隊の編成は護衛艦と同じです。

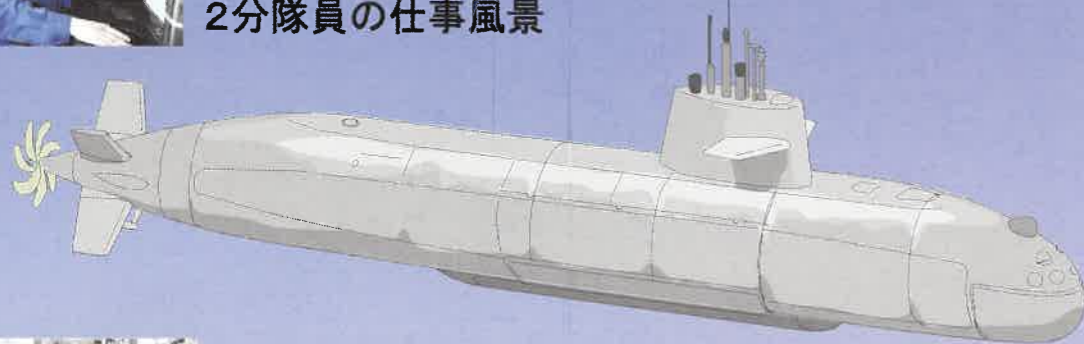


魚雷員

潜水艦の唯一の武器である魚雷等の操作・保守整備をします。また、航海中は潜水艦を飛行機と同じようにコントロールします。



2分隊員の仕事風景



ディーゼル員

艦の動力であるエンジンの運転・整備を行います。



電機員

潜水艦の推進力である電気モーター及び電池の保守整備、そしてモーター出力のコントロールを行います。



4分隊員の仕事風景

## 潜水艦乗員になるには

潜水艦乗員になるには、教育隊修業後、本人の希望及び適性により選抜されます。選抜後は、広島県の呉市にある潜水艦教育訓練隊において約4か月間の教育訓練と約4か月間の部隊実習を経て晴れて潜水艦乗員の仲間入りができます。

# 掃海部隊の仕事

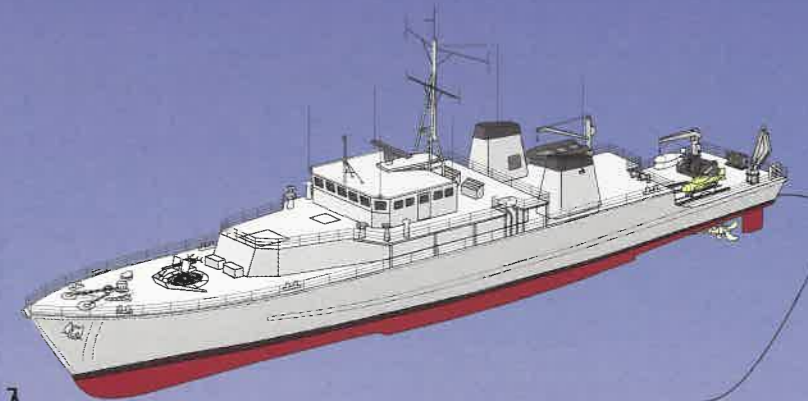
海中に敷設された機雷(爆発物)を安全に取り除く事(機雷処分)を仕事とします。また、機雷処分は日本で唯一、海上自衛隊のみが許された大事な仕事でもあります。

**1分隊(掃海科)** : 掃海科員は掃海機雷員、水測員、水中処分員から編成しています。

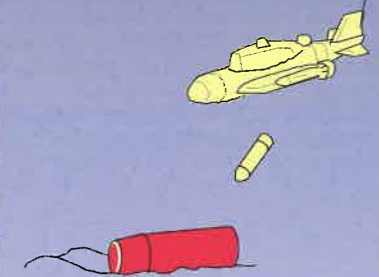


機雷掃海員

機雷を除去するための掃海具を海中に投入、揚収を行います。また、海中から水面に浮上した機雷を機関銃射撃を行い爆破処分します。



掃海具の投入の様子



水測員

ソーナーで機雷を探し、水中ロボットを操作して機雷を処分します。



水中処分員(EOD)

水中にある機雷・不発弾等の爆発物を捜索、処分します。



訓練風景

(訓練内容によっては甲板上で食事や仮眠をとります。)

**2分隊(船務科・補給科)** : 護衛艦とほぼ同じです。

**3分隊(機関科)** : 護衛艦とほぼ同じです。



機雷処分の様子



# 艦内生活

艦艇は職場でもあり、生活の場でもあります。航海中は、当直を立てて交代で勤務(シフト勤務)しています。

艦内には、TVなどを見れる共有ルーム、ジムなどがあり、訓練のない非番の時には、甲板上で体育等に励んだり、居住区で休んだり、自由な時間を過ごします。



## 幹部の寝室の様子

幹部の寝室は2~4人の部屋です。ベッド、ロッカーと執務用の机があります。



## 士官室での食事の一コマ

幹部は給仕された食事を艦長と一緒に食べます。



## 曹士の寝室の様子

幹部とは異なり約10人の部屋です。自分のプライベートはベッドのみ。しかし、慣れてしまえば快適な空間に...!



## 食事の様子

曹士の食事はセルフサービス。食べたいだけ食べることができます。しかし、健康管理には十分注意!



金曜日はカレーの日  
海上自衛隊ならではの習慣です。



## 艦上体育

訓練の合間に、許可された時間の中で体力錬成に努めます。



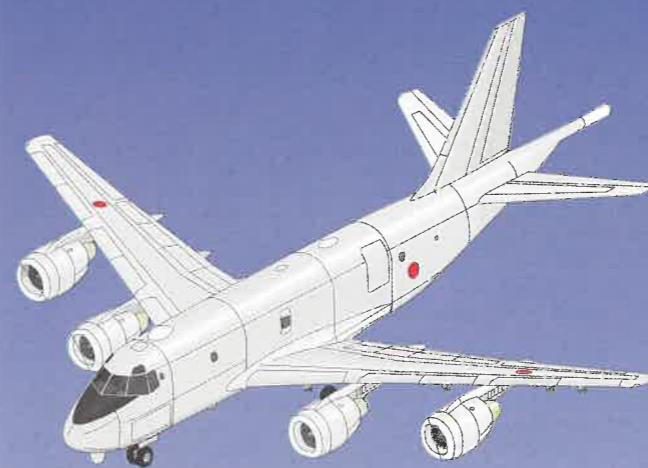
## 洗濯の一コマ

出港したら海水から真水を作るため、普段は洗濯機で洗濯していますが、それでも、真水は貴重品です。手で洗うことも稀にあります。



# 航空機整備員の仕事 (固定翼)

固定翼機の整備員です。航空機整備員は主に航空基地において航空機の整備を担当します。



## 航空発動機整備員

航空機のエンジンの整備を担当します。



## 航空機体整備員

航空機の機体構造全般の整備を担当します。



## 航空武器整備員

航空機に搭載する弾薬等の搭載作業及び整備また救命胴衣、落下傘等の救命器材の保守整備を担当します。

## 航空電機計器整備員

航空機の電気配線や計器及び電気機器等の各種整備を担当します。



## 航空電子整備員

航空機に搭載されている電子機器等の整備を担当します。



航空機の誘導の様子





# 航空機整備員の仕事 (回転翼：ヘリコプター)

回転翼機の整備員です。航空機整備の職域としては固定翼と同じです。主に航空基地での勤務ですが、回転翼整備員は護衛艦に乗艦し、艦上整備員(5分隊)として勤務することもあります。



航空機誘導の様子



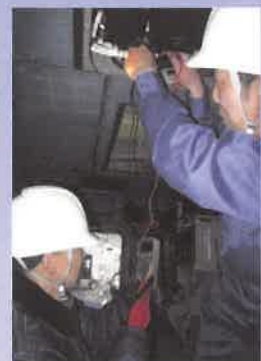
## 航空発動機員

航空機のエンジンの整備を担当します。



## 航空機体整備員

航空機の機体構造全般の整備を担当します。



## 航空電機計器整備員

発電機をはじめ、機体配線、搭載電気機器の整備及び計器類の整備を担当します。



## 航空電子整備員

ヘリコプターの搭載している電子機器の整備を担当します。



## 航空武器整備員

航空機に搭載する弾薬等の航空武器の搭載作業や整備  
また救命胴衣・落下傘等の救命器材の保守整備を担当します。



# 搭乗員

航空機に乗って仕事をします。搭乗配置には、航空機を操縦する「操縦士」、センサーなどの電子機器等を操作する「航空士」とがあります。それぞれ教育航空部隊において飛行に関する教育訓練を履修した後に部隊へ配属されます。

☆操縦士になるには  
「航空学生」または「一般幹部候補生」の飛行要員に指定される必要があります。  
☆航空士になるには  
航空整備要員から本人の希望と適性により部内選抜される必要があります。

## ～固定翼機～



機上電子整備員  
センサー等の電子機器の操作、制御を担当します。



固定翼操縦士  
航空機の操縦を担当します。



音響員・非音響員  
ソノブイ(音響)やレーダー(非音響)等の操作を担当します。



戦術航空士  
戦術に関する指揮を担当します。



機上武器員  
搭載武器の海中への投下を担当します。  
また、写真や動画の撮影も行います。



航法・通信士  
航空機のナビゲーションのほか  
艦艇等との通信を担当します。



機上整備員  
機体やエンジンの専門家として  
操縦士の補佐を担当します。

## ～回転翼機～



回転翼操縦士  
航空機の操縦を担当します。



回転翼航空士  
戦術に関するセンサー等の電子機器の操作を担当します。  
また、海難救助時の救助員、警戒活動時の機関銃射撃手等、一人で何役もこなします。



降下救助訓練



射撃訓練



# 地上勤務

地上勤務も多種多様です。基地の警備を担当する仕事や、お金の運用を担当する仕事、物品の補給・保管を担当する仕事、基地内の建物や道路を修繕する仕事等があります。ここでは主に航空基地を例に紹介します。

## 地上救難員

航空基地での航空機の方が一の事故に際し、人命救助、火災の消火活動を主な仕事とします。また、基地の警衛、自衛隊の使用車両の運行・整備も担当します。

## 地上救難班

基地内での方が一の航空機事故に際して火災の消火活動及び人命救助を担当します。



## 警衛班

基地の警備を担当します。



## 車両班

人員輸送時の車両操縦や、基地内で使用する車両の整備を担当します。



## 経理員

契約や隊員の給与計算などお金の運用を担当します。



## 補給員

鉛筆から武器まであらゆる物品の補給管理を担当します。



## 航空管制員

航空機と無線通信を行い安全に航空機が飛行及び離着陸できるよう空の交通整理を担当します。



## 気象海洋員

艦船や航空機が安全に運航するため天気予測や海洋観測を担当します。



## 通信員

部隊の口となり耳となる無線通信や情報システムの運用、保守を担当します。



## 施設員

基地内の道路や建物の修繕整備を担当します。



## 給養員

隊員に美味しい食事を提供します。

イラスト/三笠舞子

## 電計処理員

コンピュータを操作してデータ処理やプログラム作成を担当します。補給部隊等の多くの陸上部隊で活躍しています。





# 潜水員

潜水員はその職種により次の3つに大別されます。

## ☆スクーバ潜水

水深約20メートルまでの簡単な潜水作業(艦底調査、遺失物搜索等)を行います。主に護衛艦等に乗ります。

## ☆水中処分(EOD)

水深約50メートルまでの水中にある機雷・不発弾等の爆発物を搜索及び処分します。主に掃海艦(艇)に乗ります。

## ☆飽和潜水

混合ガスを呼吸して潜水を行い、深い海底に沈没した潜水艦等を救助します。主に潜水艦救難(母)艦に乗ります。

潜水員になるには本人の希望はもちろん、適格性及び健康診断から選考選抜される必要があります。



スクーバ潜水



水中処分



飽和潜水



EOD: 訓練風景

# その他の仕事

その他の仕事として衛生員(病院勤務、機上救護員)情報員、警務員、音楽員、技術員があります。

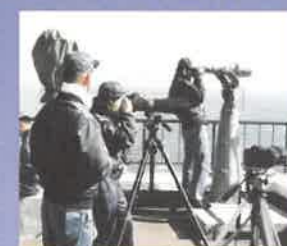
## 衛生員

病院、衛生隊、艦艇において診療の補助、看護、隊員の健康管理、衛生資材の管理等を担当します。また、希望者から選抜により機上救護員として航空機の搭乗員となって活躍できます。



## 情報員

自衛隊が収集した情報等を分析・評価し、日本の防衛や自衛隊の行動に活用します。



## 警務員

自衛隊内部の警察官です。独自の犯罪捜査権を有し、隊内の秩序の維持に努めています。



## 音楽員

音楽演奏の専門家です。国家的行事、式典や儀式に伴う演奏、自衛隊部内での演奏や広報演奏などを行い、自衛隊と国民との懸け橋として活躍します。



## 技術員

海上自衛隊が保有する艦艇や搭載する武器等の装備品の定期的な検査・修理さらには故障に対する修理等を担当します。





# 教育隊 ~自衛官としての第一歩~

採用試験に合格した一般曹候補生、自衛官候補生が、まず初めに自衛官としての基礎教育を受ける教育機関です。教育隊は、横須賀・呉・佐世保及び舞鶴にそれぞれ所在し、新入隊員は、いずれかの教育隊で、約4か月間にわたり教育訓練を受けます。教育隊では、基本訓練の他、短艇訓練、海上自衛隊の組織や規則の教育、職種別の基本的技能に関する教育が行われます。

## 横須賀教育隊



入隊式



**防火訓練**  
ひとたび艦で火災が起きたら乗員で力を合わせて消火するしかありません。



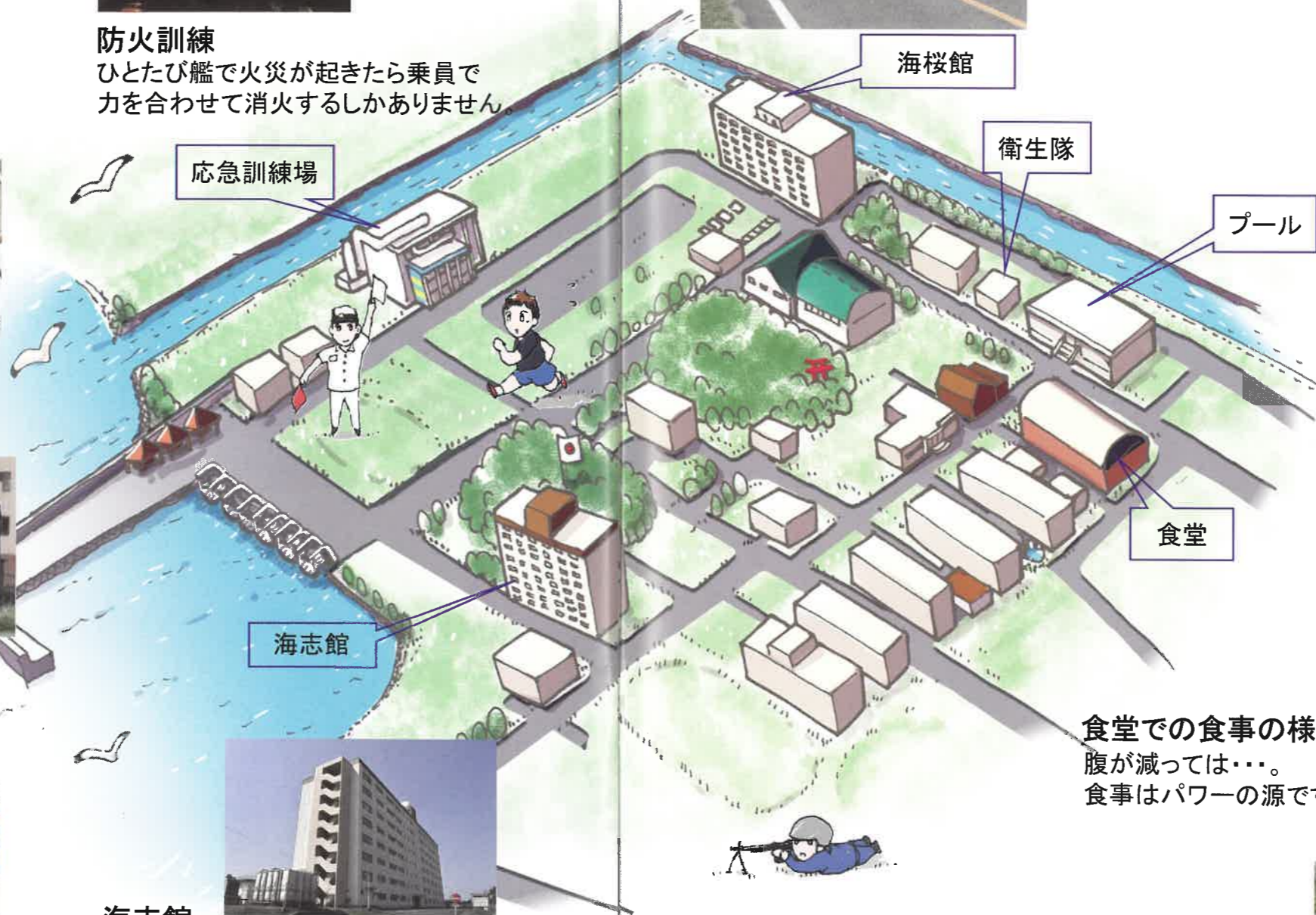
**短艇訓練**  
海上自衛官の基本であるチームワークを養います。



**手旗訓練**  
船乗りならではの通信手段を体得します。



**射撃訓練**  
自衛官としての素質を身に着けます。危険な訓練のため、陸上警備の授業を通じ、銃及び小銃の取り扱いを厳しく叩き込まれます。



**海志館**  
男子学生隊員が生活する隊舎です。



持久走競技、水泳競技、短艇競技  
教育期間中、各種競技を行います。分隊の結束、絆が一層深まる瞬間です。



**海桜館**  
女性隊員の生活の場です。



講堂での教務の様子  
パソコンを使用し海上自衛官としての勤務や規律を学びます。



**水泳教務**  
海上自衛官の必須項目です。



食堂での食事の様子  
腹が減っては……。食事はパワーの源です。



**結索訓練**  
海上自衛官の必須項目。正しい索の結び方を体得します。

イラスト/三笠舞子



